



伝える力（コミュニケーション力）の鍛え方

前号では、伝える力の大切さについてお話ししました。スティーブ・ジョブズの「いくら素晴らしいものをつくっても、伝えなければ、ないのと同じだ」という名言にある通り、情報過多の現代において発信力がないと情報の洪水中に飲み込まれてしまつて成果を残すことが出来ません。また社会人として働くようになった時には必ず人と接する必要が生じるため、**コミュニケーション力は社会人として最も重要なスキル**のひとつと言えるでしょう。では子どもの時から伝える力やコミュニケーション力を鍛えるためにはどうすれば良いのでしょうか？

言語能力とプログラミングの関係性

え？ プログラミングと言語能力に関係があるの？ 正直イメージするのが難しいかもしれませんね。一種の偏見みたいなものですが、どうしてもプログラマーは根暗でコミュニケーションが苦手な人が多いイメージがあるみたいですね。しかし、プログラミング関係の仕事をしている

人の中には、ものすごく高いコミュニケーション能力を持っている人も山ほどいますし、心をつかむプレゼンが上手な方もたくさんいます。9号でも少し触れましたが、プログラミングとは、コンピュータの理解できる論理的な文法で「お願い事」をすることです。つまり**プログラミングにはコンピュータとの対話、コミュニケーションが深く関係している**ということです。しかも人間との対話と違い、コンピュータは一言一句間違いない文法に沿つて伝えなければ、理解することができず、エラーを返してきます。正しい文法を考えながらコンピュータへの「お願い」を考える過程で言語能力が鍛えられていくという訳です。

コミュニケーション力を鍛えるには

プログラミングを学ぶ過程で、子どもたちはコンピュータの立場（相手の立場）になって物事を考えだすようになります。「**彼にはこう動いてほしいんだけど、どうお願いすればちゃんと通りに動いてくれるんだろう？**」。お子さんの頭の中にこんな思考回路ができてきました。素晴らしいことだと思いませんか？ 相手目線に

立つことは私も社会人研修の中で毎日強調するぐらい、社会で生きていくために大切なことです。また、プログラミングをすると「お願い事」の文章から極力無駄を省き、端的にわかりやすく伝える能力も同時に身に付いていきます。

このようにプログラミング教育は子どもたちが相手目線になって考えたり、論理的でわかりやすい文章を考える助けになります。ただそれだけでは不充分というのも正直なところです。今度はそれを**アウトプットする力が必要になるのですが、プログラミングだけではその力まではなかなか身につきません**。私の設立したロジカ式では、この不足を補うために授業の中で毎回15分間のコミュニケーショントレーニングを実施しています。こういった専用トレーニングを毎週少しづつ繰り返すだけで、コミュニケーション力はぐんぐんと育っていくのです。それでは、また次号でお会いしましょう。

株式会社ロジカ・エデュケーション
代表取締役 CEO 関愛

怪盗ロンメルからの挑戦状

君は秘石が眠る石室への扉を開けることが出来るかな？



子育てママのためのQ&A



小学生でスマホを持つ子が多くなってきたよね。うちの子も「みんなが持っているからほしい」とおねだりしてくれるけど、そろそろ持たせても大丈夫かしら？



安易に与えてしまう前に、以下のことを考えてみるのがお勧めよ。



<スマホを持たせる前に考えたいこと>

- ・うちの子にスマホは本当に必要？キッズ携帯でも十分？
スマホを持たせるメリットとリスクの両方を書き出してみて。
- ・うちの子は使う時間や見る内容について、きちんと自己管理できる？ちゃんとルールを決めたらそれをきちんと守れるか考えてみて。
- ・私は子どもがスマホを賢く使えるように助けてあげられる？
親がスマホの危険性や安全な使い方を教えてあげられることも大切ね。



無料体験もやってるよ！
下の教室情報を見てね。



ロジカ式池田本校
池田市室町4-49 COZY 室町1F

ロジカ式オンライン教室

詳細はこちら▶

連絡先

メール : school@logica.academy

電話 : 0800-8888-649

